

岩手大会では、「次世代へつなぐ学びのネットワークづくり～持続可能な地域コミュニティの再生を目指し～」をテーマに掲げ、「体験・参加型」「相互作用型」「学生参画型」の3つの視点で事業を展開します。

体験・参加型

岩手県沿岸部に足を運び
直接話を聞き参加・体験
する機会の設定

相互作用型

岩手県沿岸部在住者と
支援活動者の
両者にとっての成果

学生参画型

学生の
主体的参加による
新しい運営手法

事業構成

上記コンセプトを踏まえ、年間を通じた事業を実施します。

プレ・フォーラム

交流

聴く 視る 話す

期日：7月6日(土)～7日(日)
場所：宮古市・山田町
対象：大学生等

全国生涯学習ネットワーク2013の開催に向けて、県内で復興支援活動を行っている大学生等を対象に、被災地の現状や課題について学ぶとともに、フィールドワークの企画、情報交換を行います。自らの活動を振り返り、新たなネットワークを広げ、年間を通じて展開する本フォーラムの「キックオフ」を宣言します。

フィールドワーク

体験

視る 気づく 考える 行う つなげる

時期：9月上旬～中旬
場所：陸前高田市、大船渡市、山田町、宮古市
対象：全国の大学生等

プレフォーラムのワークショップの成果を踏まえ、大学生による企画ワーキンググループを中心として検討を加えた復興支援プログラムを沿岸各地にて展開します。

メインフォーラム

学び

つなげる 広げる

日時：11月16日(土)～17日(日)
会場：マリオス(盛岡市)
対象：全国の大学生、生涯学習行政、生涯学習団体、NPO関係者、生涯学習活動者等

夏のプレフォーラムを皮切りに、岩手県沿岸部において大学生等が、「自ら考え」「集い」「学び」「交流を深める」支援活動に主体的に取り組んできた、フィールドワークの成果を発表します。また、全国各地の地域コミュニティ再構築に係る先進的な事例に学び、「次世代へつなぐまちづくり、人づくり」について参加者全員で学び合う機会を提供します。

アフターフォーラム

分かち

つなげる 広げる 発信する

期日：2月6日(木)～7日(金)
会場：花巻市
対象：全国の大学生、生涯学習行政、生涯学習団体、NPO関係者、生涯学習活動者等

メインフォーラム後の活動の報告を行うとともに、フォーラムと連携した岩手県立生涯学習推進センターの研究を発表し、協議を深めつつ、取組の総括と成果の共有を図ります。

参加事業・関連事業

本フォーラムの趣旨に賛同し、各団体や機関等が生涯学習の普及・啓発を図るために自主的に実施する事業です。
(参加事業：岩手県内 関連事業：全国)



メインフォーラム

■開催日 平成25年 11月16日(土)・17日(日)

■会場 マリオス (JR盛岡駅西口そば)
メイン会場/盛岡市民文化会館 大ホール
分科会会場/盛岡地域交流センター会議室等

学び

つなげる 広げる

学び合い 分かち合い

つながり合い

生涯学習の新たな視点を
岩手から全国へ発信



夏のプレフォーラムを皮切りに、岩手県沿岸部において学生が、「自ら考え」「集い」「学び」「交流を深める」支援活動に主体的に取り組んできた、その成果と課題について発表します。

また、全国各地の地域コミュニティ再構築に係る先進的な事例に学び、「次世代へつなぐまちづくり、人づくり」について参加者全員で学び合う機会を提供します。

1日目 11月16日(土)			
時間	マリオス (盛岡駅西口そば)		
	大ホール	18階会議室	エントランスロビー
9:00			
10:00	受付 9:30~10:00 オープニングイベント 10:00~10:40		ポスターセッション・映像上映
11:00	特別講演 10:40~12:10		
12:00			
13:00	昼食 12:10~13:10		
14:00	フィールドワーク報告 13:10~14:40		
15:00		パネルディスカッション 15:00~17:00	
16:00			
17:00			
18:00	情報交換会 18:00~ ホテルメトロポリタン盛岡本館		

2日目 11月17日(日)			
時間	マリオス (盛岡駅西口そば)		
	大ホール	18階会議室	エントランスロビー
9:00			ポスターセッション・映像上映
10:00		ワークショップ 9:00~12:00	
11:00			
12:00	昼食 12:00~13:00		
13:00	復興支援ミニライブ 13:00~13:30		
14:00	クロージングイベント 13:40~15:00		
15:00			

1日目 11月16日(土) 10:00~17:00 (受付/9:30)

オープニングイベント 開会行事 <10:00~10:40 大ホール>

「地域みんなの力で郷土芸能復興」
大槌町立吉里吉里中学校
主催者挨拶、祝辞 ほか



吉里吉里中学校がある大槌町吉里吉里地区は、東日本大震災により大きな被害を受けた地区のひとつです。震災後吉里吉里中学校では、地元で伝わる吉里吉里鹿子踊(ししおどり)、吉里吉里大神楽(だいかぐら)、吉里吉里虎舞(とらまい)を全校生徒が保存会の地域の方々からの支えで取り組んできました。中学校の生徒たちに郷土芸能に親しんでもらい、保存、継承し続けていこうという地元の人たちの思いにより、現在取り組んでいます。大会ではそのなかから「吉里吉里虎舞」を演舞します。

特別講演 <10:40~12:10 大ホール>

演題 「イーハトーヴ交響曲に込められた賢治の想いと震災復興への願い」
講師 作曲家 富田 勲 氏



1932年東京生まれ。慶応義塾大学在学中から作曲家として多彩な分野で活躍をはじめ、74年にはシンセサイザーによる「月の光」を発表して米・ビルボード誌の第1位を獲得し、さらに日本人として初めてグラミー賞にノミネート。以後発表するアルバムは次々に全世界で空前のヒットとなる。その後、多数のNHK大河ドラマや山田洋次監督作品で音楽を担当。2011年からは「ISAO TOMITA PROJECT」が始動。「惑星」や「月の光」など、過去の名作をリメイク&サラウンド化した完全版が日本コロムビアより継続的にリリースされている。2011年1月に朝日賞受賞。

さらに12年11月には、宮沢賢治の作品世界を題材にし、ソリストに「初音ミク」を起用したことで話題の「イーハトーヴ交響曲」の初演が行われ、全世界的な注目を集めた。13年8月からは花巻・東名阪で「イーハトーヴ交響曲」再演ツアーが進行中。

聞き手 (総合司会)
IBC岩手放送アナウンサー 土村 萌 氏

1985年 岩手県盛岡市生まれ
岩手大学工学部建設環境工学科卒業
2008年 IBC岩手放送入社
現在、IBCラジオ毎週土曜朝7時10分から放送
「石川啄木うたごよみ」を担当



フィールドワーク報告 <13:10~14:40 大ホール>

「被災地における訪問体験活動～大学生が創る訪問プログラム」

大学生が企画・実施した復興支援活動（フィールドワーク）を踏まえ、復興や地域の活性化のため、若者がどのような活動ができるか、その成果と課題について報告します。

トータルコーディネーター

岩手県中核観光コーディネーター 草野 悟 氏

昭和25年6月27日いわき市生まれ。東北学院大学経済学部商学科卒業後、(株)旭通信社（現アサツー ディ・ケイ）入社。同社北東北支社長、東北支社長、本社プロジェクト推進局長を歴任、平成18年退職。その後、岩手県産業振興センターコーディネーター、三陸鉄道(株)経営企画アドバイザー・総合企画アドバイザー 現在に至る。おもな業績として、「いわてびあ85」「三陸海の博覧会」「宮沢賢治生誕100年」「全国菓子大博覧会」等の総合プロデューサーがある。



「PiKA PiKA 光の支援メッセージづくり」 <宮古市>

発表者／富士大学 経済学部 2年 山路 愛里 さん
盛岡大学 文学部 2年 小川 千尋 さん 他

コーディネーター／地域コーディネートセンターみやこ
代表理事 金野 侑 氏



山田発! 食のこだわりマップづくり <山田町>

発表者／盛岡大学 文学部 3年 五十嵐 由香 さん
盛岡大学 文学部 3年 佐々木 佳実 さん
岩手県立大学 社会福祉学部 2年 澤田 崇弘 さん 他

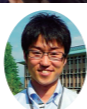
コーディネーター／岩手大学三陸復興推進機構 特任研究員 船戸 義和 氏



秋祭りで地域交流 <宮古市>

発表者／盛岡大学 文学部 3年 酒井 涼 さん
盛岡大学 文学部 1年 森居 瞭平 さん
岩手県立大学 看護学部 2年 古谷 彩華 さん 他

コーディネーター／一般社団法人子どものエンパワメントいわて 学習支援課長 浅石 裕司 氏



連携フィールドワーク

「足湯ボランティア in 陸前高田」 <陸前高田市>

発表者／岩手大学 工学部 2年 伊藤 大 さん
富士大学 経済学部 3年 齋藤 匡平 さん 他

コーディネーター／岩手大学三陸復興推進機構 プロジェクトマネージャー 楡井 将真 氏



▶フィールドワークの詳細な内容については22ページに掲載しています。